

【社会科学習材開発セミナー】

2015.04.13

- 一昨年度までは、子どものための学習材（地理，歴史，公民）を開発してきた。
- 昨年度は，教師の授業改善のための学習材を開発した。
- 今年度は，教師教育者の専門性向上のための学習材とその活用マニュアルを開発したい。

1. ねらい

- (1) 事例分析の結果にもとづいて，社会科教員養成（for pre-service teacher）を担当する教師教育者の育成原理を説明できる。
 - (2) (1) の構成原理を発展させて，教員養成担当者の professional development を支援するモデルプログラムと学習材の活用マニュアルを開発できる。
 - (3) 事例分析の結果にもとづいて，社会科教員研修（for in-service teacher）を担当する教師教育者の育成原理を説明できる。
 - (4) (3) の構成原理を発展させて，教員研修担当者の professional development を支援するモデルプログラムと学習材の活用マニュアルを開発できる。
- 後期の特講では，モデルプログラムと学習材の活用マニュアルを用いて，（現職の，あるいは将来の）教師教育者を対象にした講座やセミナーが企画・運営し，その効果を検証することを目標とします。

2. スケジュール

導入：授業のねらい

第1講（4月13日）

- ・オリエンテーション，発表分担の調整，決定
- ・学部授業の TA としての経験を語る－私は何をしてきたか
- ・教員の授業研究会に参加・観察した経験を語る－何をどのように学んでいたか
- ・それぞれの場で，教師教育者はどのような務めを果たしていたか

第2講（4月20日）

大学（University/Institution Based）における教員養成と教員研修の概観

- ・渡部竜也ほか「わが国の初等・中等社会科教員養成の実態に関する基礎的研究(I): 大学主催の10年次研修の実態から見るわが国の教員養成」『東京学芸大学紀要.人文社会科学系』II, 59... (M1:1 迫)
- ・渡部竜也ほか「わが国の初等・中等社会科教員養成の実態に関する基礎的研究(II): 「社会科教育法」シラバス分析及びアンケート調査を通じた仮説の検証」『東京学芸大学紀要.人文社会科学系』II, 61... (M1:2 齊藤)

展開1： 教員養成の指導者＝教師教育者に求められる資質・能力

第3講 (4月27日)

教員養成のための教材の理念と構成，その指導者に求められる資質・能力

- ・ 田部俊充『大学生のための社会科授業実践ノート』... (M1:3 村田)
- ・ 二谷貞夫『中等社会科ハンドブック ―<社会・地歴・公民>授業づくりの手引き―』... (M1:4 守谷)

第4講 (5月11日)

教員養成のための教材の理念と構成，その指導者に求められる資質・能力

- ・ 教育実習を考える会『教育実習生のための学習指導案作成教本 社会・地歴・公民科』... (M1:5 稲垣)
- ・ 全国公民科社会科教育研究会『高等学校公民科―とっておき授業LIVE集』... (M1:6 竹内)

第5講 (5月18日)

教員養成のための教材の理念と構成，その指導者に求められる資質・能力

- ・ 臼井嘉一，柴田義松『社会・地歴・公民科教育法』... (M1:7 辻)
- ・ 社会認識教育学会『地理歴史科教育』... (M1:8 岡田)

第6講 (5月25日)

教員養成の指導者を直接的に育成するプログラムと，そこで活用されている教材

- ・ 日本の事例... 広大 EdD，玉川大学ほか... (M1:9 河原)
- ・ 諸外国の事例... 論文や HP 情報を手がかりに... (M1:10 山田)

インターバル： 昨年度の大学院生共同研究成果の論文化の検討

第7講 (6月1日)

- ・ 「社会科授業力改善ハンドブック開発と評価―教員養成・教員研修の場で活用できる教材の構成―。」(学校教育実践学研究 22 号用) ... (M2:)

展開2： 教員研修の指導者＝教師教育者に求められる資質・能力

第8講 (6月8日)

教員研修のための教材の理念と構成，その指導者に求められる資質・能力

- ・ 木原俊行ほか「学校を基盤とするカリキュラム開発」を推進するリーダー教師のためのハンドブックの開発』『カリキュラム研究』22号... (M1:1 稲垣)
- ・ 川口広美「教師による社会系教科カリキュラム設計方法論の構築―高校日本史カリキュラム開発共同研究を事例として―」『社会科研究』80号... (M1:2 河原)

第9講 (6月15日)

教員研修のための教材の理念と構成，その指導者に求められる資質・能力

- ・ 稲垣忠・鈴木克明『授業設計マニュアル Ver.2 教師のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房... (M1:3 辻)
- ・ 鈴木克明『研修設計マニュアル：人材育成のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房... (M1:4 岡田)

第10講 (6月22日)

教員研修のための教材の理念と構成，その指導者に求められる資質・能力

- ・ 上田信行・中原淳『プレイフル・ラーニング』三省堂... (M1:5 竹内)
- ・ 山内祐平『ワークショップデザイン論-創ることで学ぶ-』慶應義塾大学出版会... (M1:6 村田)

第11講 (6月29日)

教員研修の指導者を直接的に育成するプログラムと，そこで育成している資質・能力

- ・ 諸外国の事例...論文やHP情報を手がかりに... (M1:7 迫)
- ・ 日本の事例...中央研修(教員研修センター)... (M1:8 斉藤)

終 結： 教師教育者教育のためのプログラムと学習材の開発

第12講 (7月6日)

教育学の諸理論を教師教育者教育に活用する

- ・ 生涯学習・成人教育に関する先行理論の検討... (M1:9 山田)
- ・ Professional Developmentに関する先行理論の検討... (M1:10 守谷)

第13講 (7月24日)

教員養成担当者(大学教員)育成のためのモデルプログラム

- ・ 3つの理論を具体化したモデルプログラム
- ・ モデルプログラムにおける『社会科授業力改善ハンドブック』『地理学習材』『歴史学習材』『公民学習材』の活用マニュアル... (M1:1 守谷, 2 岡田, 3 辻, 4 迫, 5 竹内)

第14講 (7月27日)

教員研修担当者(指導主事, 附属校教員)育成のためのモデルプログラム

- ・ 3つの理論を具体化したモデルプログラム
- ・ モデルプログラムにおける『社会科授業力改善ハンドブック』『地理学習材』『歴史学習材』『公民学習材』の活用マニュアル... (M1:6 山田, 7 河原, 8 稲垣, 9 村田, 10 斉藤)

第15講 (8月3日)

教員養成・教員研修担当者育成のためのモデルプログラム

第13講と第14講の改良・修正版の報告

※7月13日は，発表のための準備期間を確保するため休講

※7月24日は，月曜日の振り替え日のため，金曜日に開講。

4. 文献・資料の準備

- 第2講～第6講，および第8講～第12講では，授業の1週間前までに，一人当たりB4サイズ5枚以内(表裏印刷可)に扱う文献・資料を集約し(主要部のみ可)，印刷・配布する。ただし，論文に限っては全文を印刷してください。
- 言うまでもないが，受講者は文献に目を通して受講すること。論文の要旨を(抽象論に走ることなく具体レベルで)答えることができるように準備しておくこと。

5. 発表が終わったら

- 質疑と指導の内容を踏まえて、修正したレジユメのデータを草原に送付する。
- 送付は発表後 2 週間を目安とする。特段の事情がない限り 1 か月以上遅れないこと。
- 資料は、草原の修正・点検を経たのち、研究成果としてウェブ上に公開する。

6. 評価の観点

- 発表内容の完成度（論理性、実証性、斬新性など） ... 60%
- 議論へのコミットメント（質問、助言、論点整理など） ... 20%
- モデルプログラムと学習材活用マニュアル（レジユメの表現力、説得力など） ... 20%

7. 連絡先

- 研究室： A404 草原研究室，TEL&FAX：082-424-6800
- 電子メール： kusahara@hiroshima-u.ac.jp
- ホームページ： <http://home.hirosima-u.ac.jp/kusahara/kusalab/>
- 参考資料： 過去に開発した学習材は、pdf として以下の URL に保存している。
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/class/2013/text/text.html>